



---

# 分析情報

カザフスタン共和国 油脂部門  
現状と発展の見通し

---

ネヴゾロフ K.G.

法人連合「カザフスタン油脂協会」  
ヌルスルタン市 2021年

## カザフスタン共和国の油脂部門成功の主要ファクター

### ファクター

植物油の輸入割合が高い

油脂処理工場の能力がフル活用されていない

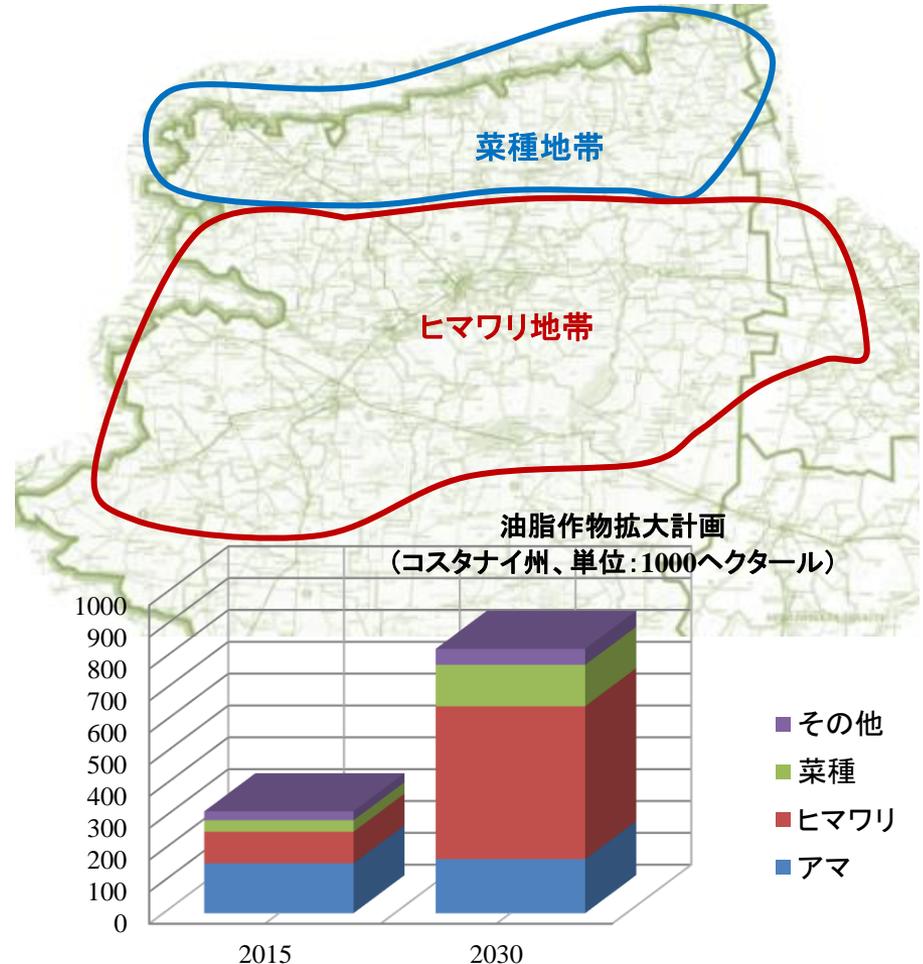
農業地リソース

油脂製品の中央アジアおよび中国市場への輸出ポテンシャル

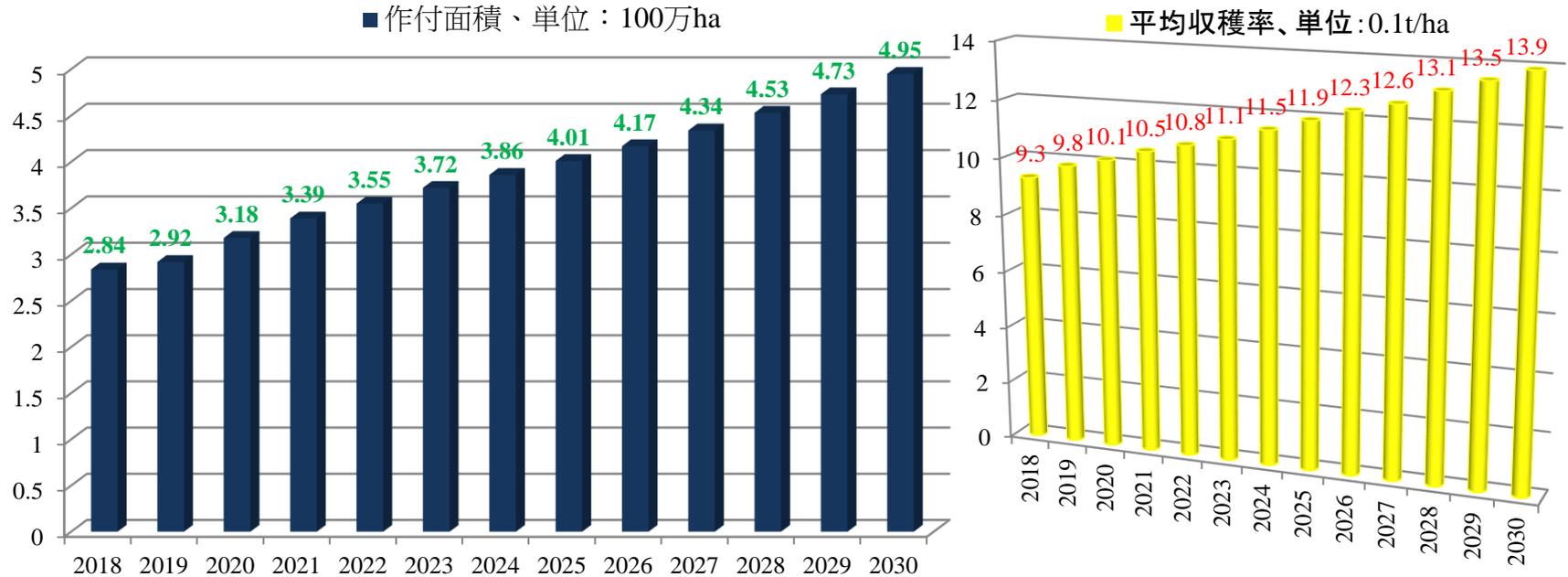
有機油脂製品の欧州市場への輸出ポテンシャル

カザフスタン国内の畜産発展

油脂・タンパク質食品の世界需要増加

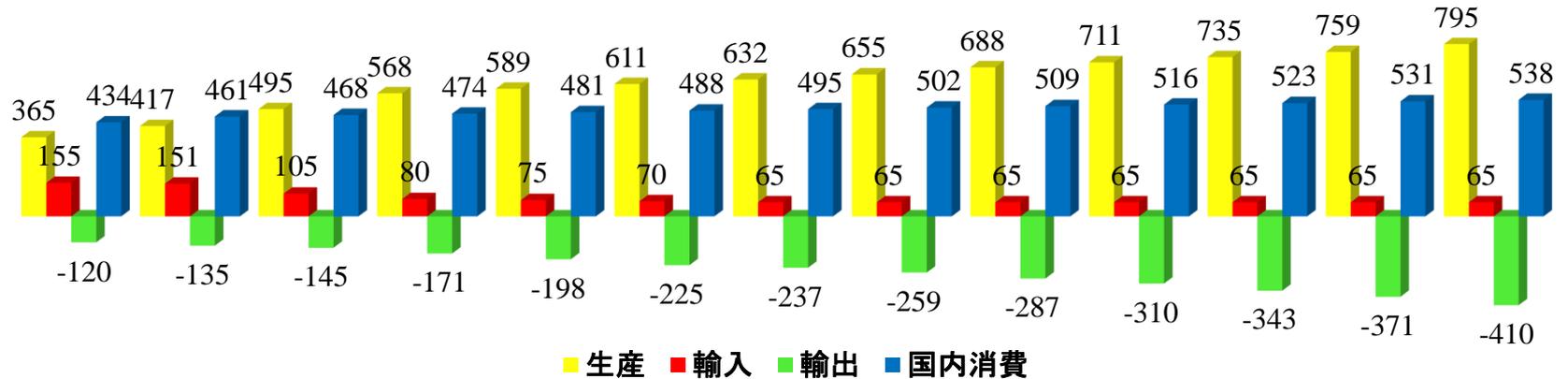


## 2018～2030年の油糧作物作付面積および平均収量の伸びの推定評価



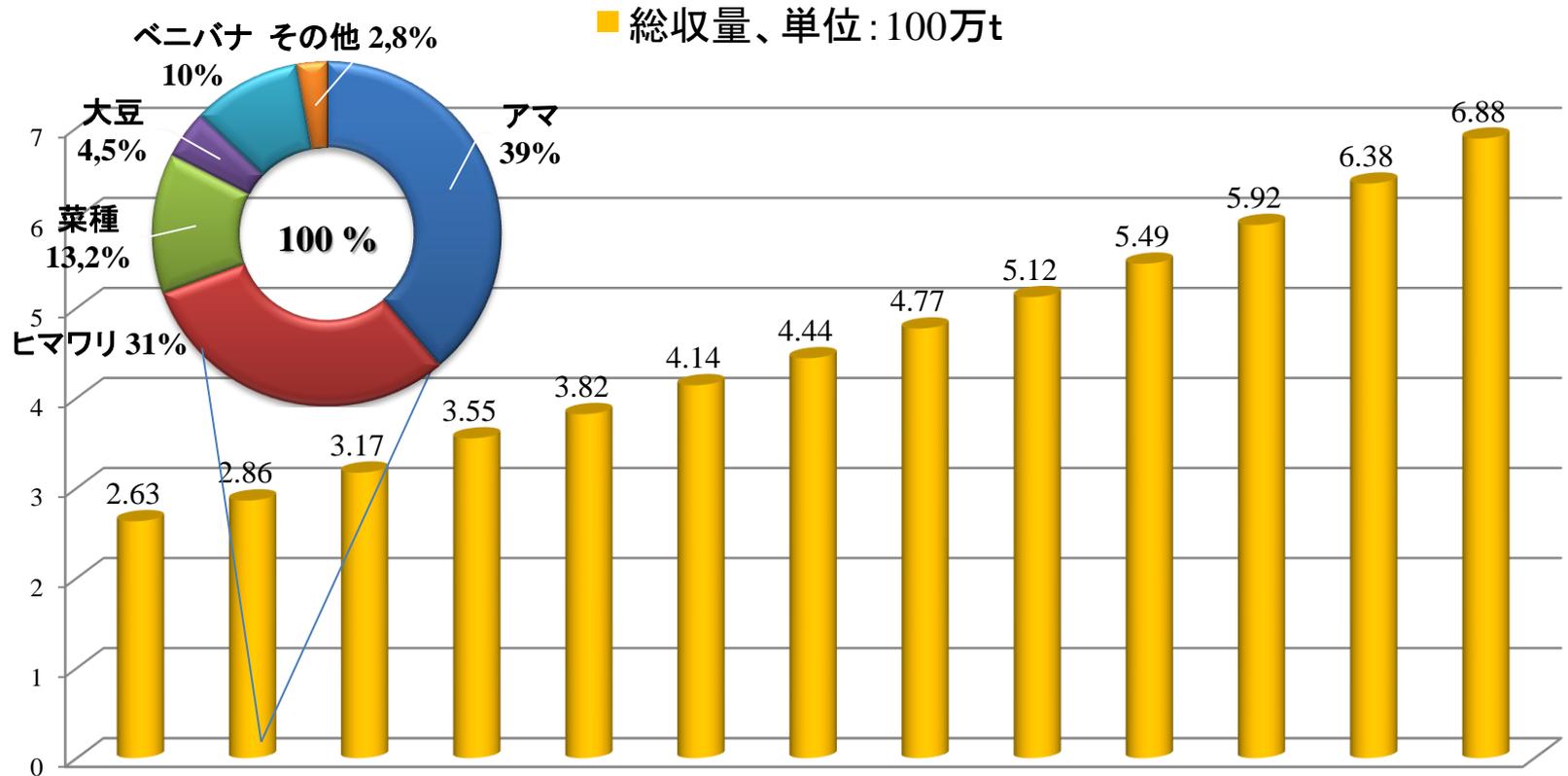
年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
作付面積 単位：100万ha	2.84	2.92	3.18	3.39	3.55	3.72	3.86	4.01	4.17	4.34	4.53	4.73	4.95
平均収量 単位：0.1t/ha	9.3	9.8	10.1	10.5	10.8	11.1	11.5	11.9	12.3	12.6	13.1	13.5	13.9

## 2018～2030年の植物油のバランス予測 (1,000t)



	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
生産	365	417	495	568	611	632	655	688	711	735	759	795	795
輸入	165	151	105	80	80	75	70	65	65	65	65	65	65
輸出	120	135	145	171	198	225	237	259	287	310	343	371	410
国内消費	434	461	468	474	481	488	495	502	509	516	523	531	538

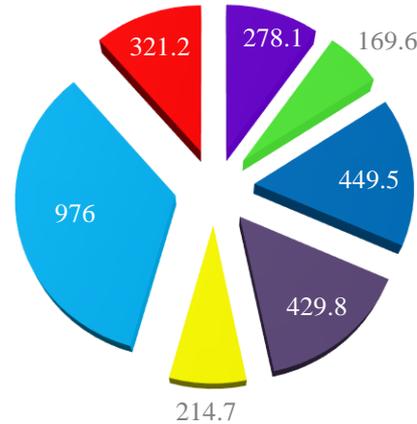
## 2018～2030年の油糧作物総収穫量の予測評価



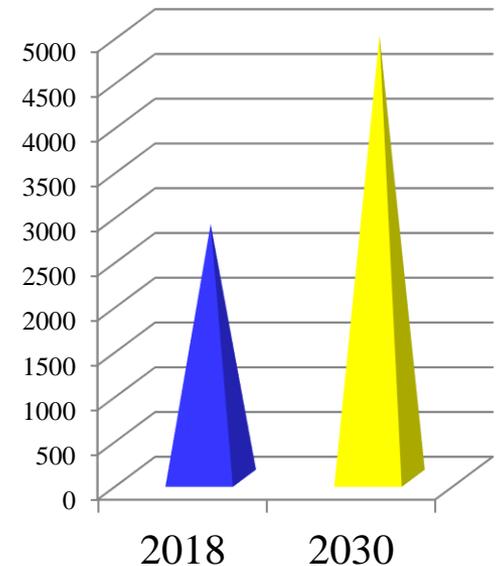
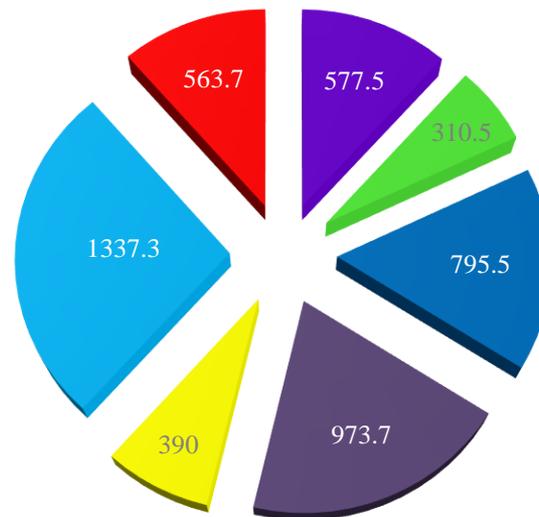
年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
総収量 100万t	2.63	2.86	3.17	3.55	3.82	4.14	4.44	4.77	5.12	5.49	5.92	6.38	6.88

## 2018～2030年の油糧作物用作物面積構成 推定変化(単位:1,000ha)

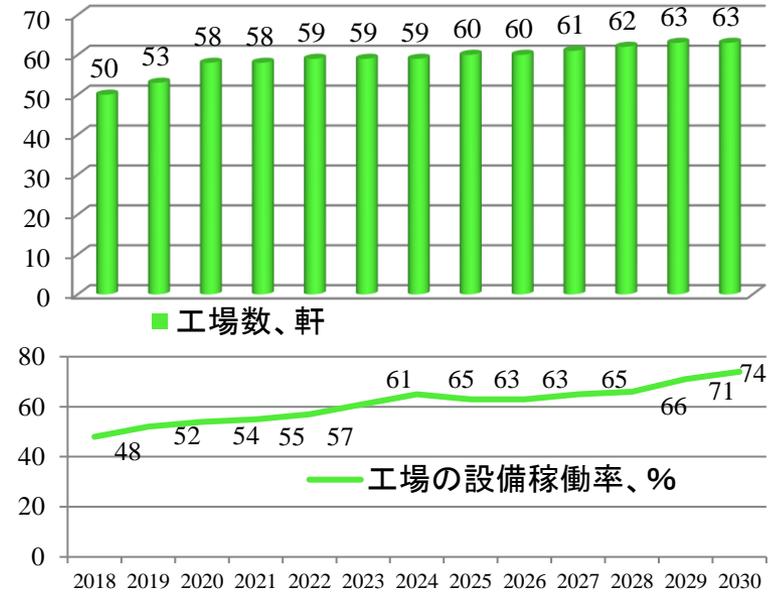
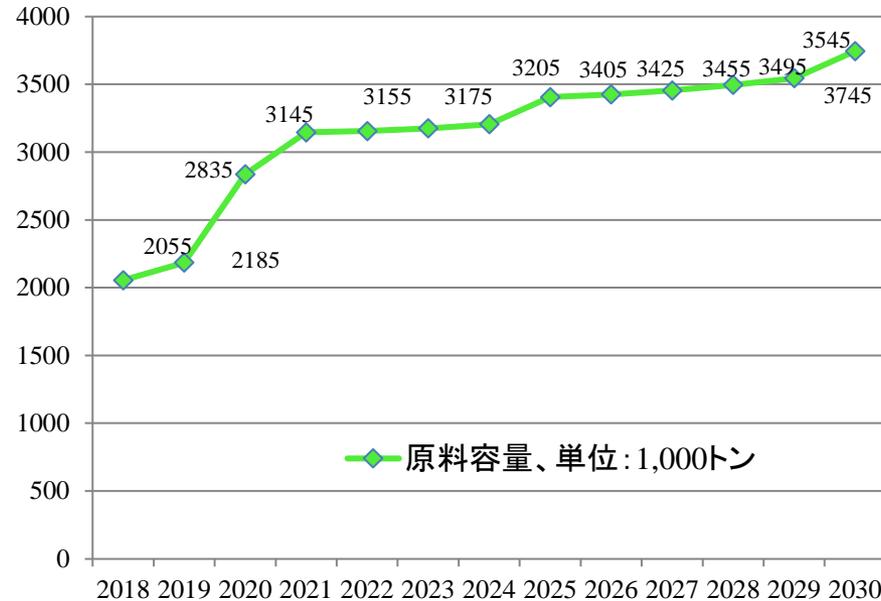
年	2018	2030
アクモラ州	278.1	577.5
アルマトイ州	169.6	310.5
東カザフスタン州	449.5	795.5
コスタナイ州	429.8	973.7
パブロダル州	214.7	390.0
北カザフスタン州	976.0	1,337.3
その他	321.2	563.7
<b>計</b>	<b>2,838.9</b>	<b>4,948.2</b>



- アクモラ州
- アルマトイ州
- 東カザフスタン州
- コスタナイ州
- パブロダル州
- 北カザフスタン州
- その他



## 2018～2030年の処理工場の利用率および能力評価



年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
原料容量 (単位：1,000トン)	2055	2185	2835	3145	3155	3175	3205	3405	3425	3455	3495	3545	3745
工場数、軒	50	53	58	58	59	59	59	60	60	61	62	63	63
設備稼働率(%)	48	52	54	55	57	61	65	63	63	65	66	71	74

## カザフスタン共和国における油糧作物生産の主な問題

- 優良種子農場のネットワークが不十分
- 種子の生産性が低い
- 化学肥料生産が十分に発達していない
- 農機の劣化
- 優秀な人材が不足
- 農業技術が十分に守られていない
- 油糧作物の貯蔵インフラが十分に発達していない
- 作物面積と収量に関し過大評価されることがある



## カザフスタン共和国における油糧作物処理の主な問題

- 必要な品目・品質の国産原料が足りない
- 検疫区域で栽培された原料を加工することができない
- 特定時期に原料を買い付けるための運転資金が不足
- 完成品輸出にかかる輸送料金が低い
- 最新の油糧作物貯蔵インフラが不足している
- 優秀な人材が深刻に不足している



## 油脂部門発展に向けた統合アクションプラン

0 ステージ 2018	1 ステージ 2019-2021	2 ステージ 2022-2025	3 ステージ 2026-2030
<b>戦略承認</b>	<b>原料基盤の拡大</b>	<b>新規生産</b>	<b>輸入代替</b>
現状分析、問題点の検討、解決法の模索を経たうえで詳細戦略を策定	南部・北部地域における生産性向上	種子確保	生植物油の輸入削減
既存の作付面積の分析、北部地域における栽培条件・環境整備	設備更新および再装備・設備再構築	1日の生産能力1,000tの新規工場を少なくとも5つ操業させる	国産原料をもとに植物油および油脂製品を生産(関税同盟技術規則024に適合)
研究所と協力	農業生産者の研修	互恵的なアンカーコーポレーション(生産者と加工者のパートナーシップ)の進展、調達センター創設	国内市場に油脂製品を充足
	新規工場建設に投資家誘致	副産物加工の推進: 油粕の醗酵および造粒、油糧作物廃棄物の押出成形、配合肥料生産、収穫後の茎の残骸処理加工	加工油脂製品および製粉用穀物の輸出拡大

同社は、2011年以來、カザフスタン市場で Safloriaの商標で未精製のコールドプレスされたベニバナ油の生産を専門としており、ベニバナと穀物を栽培しています。サラダや温かい料理に最適な、最高品質の未精製のコールドプレスベニバナ油を製造しています。このオイルは発煙点が高く(264° C)、リノール酸(約80%)とビタミンEが大量に含まれています。





「SAKEN SEIFYLLIN」はカザフスタン農業工科大学にちなんで名付けられました



「EurasianFoodsCorporation」を開催することは、カザフスタンと中央アジア諸国で有数の重要な食品産業企業の1つであり、最高の国際基準を満たす油脂製品の生産者の間で共和国のリーダーとして認められており、生産量は年間14万トン。



開催は、カザフスタン共和国の3つの最大の食品産業企業で構成されています：Eurasian Foods Corporation JSC、Almaty、Eurasian Foods JSC、カラガンダおよびEurasian Food Milk LLP、Petropavlovsk





ご清聴ありがとうございました